

こぼれ話2

豊田にあった多摩最古のビール工場

日野に多摩最古のビール工場があったことをご存じですか？

明治十九年（1886年）、日本が近代国家へと歩みを進める中、豊田の山口家の手によってビールは作られました。「山口（豊田）麦酒」と名付けられ、新聞に「外国輸入の品にも劣らない味である」と。まさに日野の近代化を象徴する一品でした。

また、明治二十二年八月十一日、甲武鉄道（現中央線）の立川〜八王子間開通祝賀会の際、山口麦酒三百本が寄贈され、飲み過ぎて、お腹を下す者が出たという話も残されています。最近、山口家の敷地内で行われた発掘調査と蔵の調査で、日野煉瓦造ビール貯蔵所の跡や当時のビールのラベル、そして、ビール貯蔵所を写した写真乾板が発見されました。再び現代に姿を現した先人たちの功績を思い浮かべ、一杯酌み交わしてはいかがでしょうか。



▲ビール貯蔵所

▲ビールのラベル（山口麦酒）